土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　西父木野川支川3外　通常砂防事業に伴う業務委託

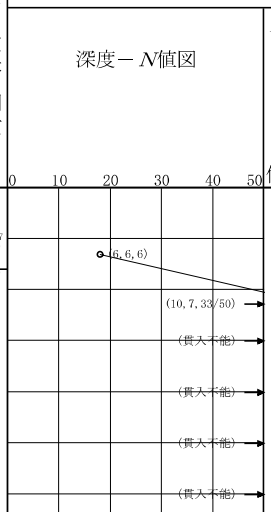
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 6	**調査位置**	広島県神石郡神石高原町父木野地内			**北緯**	34° 39′ 57.3789″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2022年 1月 26日 ～ 2022年 1月 27日	**東経**	133° 13′ 51.6323″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 505.39m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 25°
総削孔長	6.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦DO-C	**エンジン**	ヤンマーNFD-12
ポンプ	東邦BG-3						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				玉石混じり粘土質砂礫		淡褐	rd3		完新世	表層0.2mは有機質な表土。 径30mm未満の角礫と粗砂が主体。 基質は粘土分を多く含有しやや締まっている。 全体に含水あり。 コア長5～10cmの硬質な転石が不規則に点在する。	01/27 1.60 ▽
2	502.99	2.40									
3				砂岩	CH	暗青灰			ペルム紀	棒状コア（中硬岩以上）。 岩質は新鮮硬質でハンマー打診で金属音を発する。 泥質部が多く混在するが細粒砂岩優勢。 傾斜20° 前後の層理を有する。 割れ目は傾斜50° 前後で密著している。	
4											
5											
6	499.39	6.00									
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
18	1.15	6	6	6	18/300		
	1.45						
60	2.15	10	7	33/50	50/250	250	
	2.40						
	3.00	貫入不能			50/0		
	3.00						
	4.00	貫入不能			50/0		
	4.00						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						
	6.00	貫入不能			50/0		
	6.00						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					1/26
					1/27